

2024年2月定例会一般質問

○浅野博文議員 おはようございます。公明党の浅野博文でございます。早速、通告どおり2件の質問をします。

初めに、美歎水源地の水質改善についてお聞きします。

私が生まれ育った国府町美歎にあります旧美歎水源地水道施設は、大正から昭和にかけて、鳥取市民の水がめとして市民生活、産業、衛生面で果たした機能は大きく、地域の近代化の歩みを示す鳥取市民の社会的財産です。私も子供の頃はこのきれいでおいしい水を飲んで育ちました。この施設は近代の水道施設の構成を知る上で貴重な文化財であり、昭和60年には近代水道100選として、また平成19年には国指定の重要文化財に選定されるなど、その歴史的価値は内外に高く評価されています。

本市は、平成26年3月、重要文化財美歎水源地水道施設保存活用計画を作成して環境整備を行うとともに、それに併せ、地元でも美歎水源地保存会を結成し、この施設を地域の安らぎの場にしたいとの強い思いで清掃活動や保存活動にも力を入れながら、蛍の鑑賞会や季節ごとのライトアップ、そして音楽コンサートなど様々なイベントを実施してきました。そのおかげで、現在では市民の憩いの場、癒やしの空間として多くの来訪者を受け入れる施設として活用されています。

しかしながら、今その美歎水源地の景観や周辺環境は大きく損なわれつつある現状と言えます。平成31年年頃から、美歎川を通じて水源地に留まっている貯留水や親水エリアのある下流域へ流れてくる水に変化が見られるようになってきました。特に初夏から秋にかけての気温が高い時期には藻が繁殖し、泡の発生や濁りが目立つなど、文化財として市民の方に親んでもらう施設としては甚だ不都合な環境となってきました。原因は明らかではなく、様々な要因が重なって現在の状況を生み出しているものと考えますが、現在の美歎水源地を取り巻く水質環境の現状について、市長はどのような認識を持っておられるのかお伺いします。

次に、デジタル化による市民サービスの向上についてお聞きします。

令和4年4月改訂版鳥取市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進方針の中にある、DX推進により目指すまちづくりの基本理念は、デジタル技術を活用して、鳥取市総合計画に定める施策の一層の充実を図り、本市の明るい未来づくりを加速するとともに、市民一

人ひとりがデジタル化の恩恵を享受することで、豊かさと幸せを実感することのできるまちづくりを進めますとあります。

そして、地域社会のDXの推進、行政のDXの推進、デジタル社会の基盤づくりの3つの柱に11の基本方針を設定し、本市のDXの推進を図っています。しかしながら、その一方で私は市民の方から様々な御意見や御要望をいただいております。そのことを踏まえ、具体的な質問をしたいと思います。

最初に、地区公民館DX推進事業についてお聞きします。

以前は地区公民館と本庁のICT環境が異なっていましたが、地区公民館DX推進事業により、全庁共通のLWAN系のシステムが導入され、事務のデジタル化を推進して職員の移動時間やコスト削減が可能になりました。また、地区公民館内にはLANケーブルや無線アクセスポイントを設置して、オンラインを活用した講座の開催ができるようになり、地域活動や生涯学習の充実が図られ、利用者の利便性の向上につながったと考えます。この事業の整備状況と効果についてどのように評価しているのかお伺いします。

以上、登壇の質問とします。

○深澤義彦市長 公明党の浅野議員の御質問にお答えをいたします。2点についてお尋ねをいただきました。

まず、1点目ではありますが、現在の美歎水源地を取り巻く水質環境の現状をどのように認識をしているのかと、このようなお尋ねをいただきました。

美歎水源地に係る美歎川周辺の水質調査につきましては、地域の要望等を受けまして、令和2年7月から10月にかけて、13項目の水質検査を3回実施しております。

生活環境の保全に関する環境基準は、各公共用の水域について水域の種類ごとに設定をされておまして、美歎川にはこの設定はないものの、調査結果は河川A類型と同等の結果ということでありました。

藻の繁殖や泡の発生、先ほども御紹介いただきましたけれども、これらの発生につきましてはダム湖内の水の滞留によるプランクトンの繁殖の影響が原因の1つと考えられておりますが、原因の特定には至っており、令和2年度以降は状況を注視しているところであります。

2点目のお尋ねであります。地区公民館DX推進事業についてお尋ねをいただきました。この事業の整備状況と効果について、どのよう

に評価をしているのかとお尋ねをいただきました。

本事業は、公衆無線LANなど施設内のインターネット環境の充実と、本市の事務システム環境の整備を行ったものであります。これにより大会議室などでもインターネット使用が可能となり、スマホ教室などの研修で活用し、地域の皆様のデジタルディバイド解消にもつながっております。また、まちづくり協議会などの会議や避難所開設時にも利用いただいております。職員もオンラインでの研修や会議が増え、移動時間やコストの削減につながっているところであります。

また、本市で活用する事務システム環境を地区公民館に整備をしたことで、メールでの情報共有が掲示板形式で行えるようになり、災害時などの情報伝達が迅速に行えるようになったところであります。

○浅野博文議員 引き続き、美歎水源地の水質改善についてお聞きします。

本件に関しましては、以前から地元の関係者から市の環境部局や農林部局に状況の訴えがあり、有効な対策を講じるよう要望してきた経緯があります。特に上流の大規模畜産施設が美歎川に排水している処理水に含まれる有機系成分が、最近の気象状況の変化などにより河川の水質に影響を与えているのではないかと考え、畜産を担当している農林部局には従来から親身になって相談に乗っていただいております。昨年末には、県・市、畜産関係者、地元住民といった水源地周辺の関係者が集い、課題解決に向けた今後の対応について意見交換会が行われたと聞いております。そこで、意見交換会においてどのような話し合いが行われたのかお伺いいたします。

○坂本武夫農林水産部長 お答えします。

昨年12月27日に行われました国府町美歎水源地に関する意見交換会では、地元の美歎地区自治会、美歎水源地保存会、地元農業法人、近接する畜産事業者並びに県・市の農畜産業担当部局と国府支所の参加によりまして意見交換が行われました。

地元からは、近年美歎川水系の美歎水源地にある砂防ダム周辺でのアオコの大量発生により水質が悪化しており、国指定重要文化財である美歎水源地の観光客数の減少や、今後近隣農地に影響が出ることを心配しているなどの意見が出されました。

一方、畜産事業者からは、定期的を実施しております外部機関による水質検査結果は、畜産業の排水基準をクリアしている旨の説明がご

ございました。

今後の対策について、地元からは、きれいな美歎水源地を次世代につなげるため、アオコの大量発生の原因究明と改善要望があり、畜産業者からも同様に、美歎水源地の水質に関する調査と改善を進めてほしいとの要望がございました。

○浅野博文議員 今詳しく意見交換会の内容を答弁していただきましたけども、この意見交換会においては現在の水環境の悪化の原因は簡単に特定できるものではなく、想定外の事態が起こっているとの認識が共有されたものと考えます。

また、本市においても、先ほど市長も答弁されましたけど、令和2年に水質検査をしていただき、水質基準を満たしているとの検査結果が得られたようですが、この結果を受けてのことからか、結局具体的な対策は行われず、現在に至っております。

美歎川は県管理河川。水源地が県管理の砂防ダムであるため、まずは県が責任を持って対策を検討する必要があると考えますが、本市は具体的な対策について何も行動を起こさないのでしょうか。この課題について、本市は文化財を所管する立場から県にしかるべき要望を行った上で、県と連携し、早急に具体的な対策をするべきと考えますが、教育長の御所見をお伺いします。

○尾室高志教育長 地元の皆さんを中心とする美歎水源地保存会の会員の方や、イベントや見学などに来訪された方から、美歎川の水がきれいではないというお声があることは承知しております。この水環境の悪化が文化財そのものの保存に直ちに影響するものではないと考えておりますが、そういった状況があれば文化財の活用に影響する可能性もあろうかと考えております。

水質検査の結果などから、水質基準を満たしているということですが、教育委員会といたしましても河川管理者である鳥取県に現状を伝え、管理者において美歎川の現状調査や対策などを行っていただくよう要望してまいりたいというふうに考えております。

○浅野博文議員 今、教育長のほうから御答弁いただきましたけども、ぜひとも県と連携して効果的な対策について早急に取り組んでいただきたいものですが、複合的な要因が想定される中で効果的な対策を行おうとするならば、まずは単なる水質検査ではなく、付近の地形

や気象条件等も考慮した学術的調査が必要ではないかと考えます。その検査結果があつて、初めて適切な対応ができます。

また、本市には鳥取大学、公立鳥取環境大学などの研究機関があります。県・市、大学、地元が連携して、どのような対策が有効か、具体的な対策を見据えた調査を早急に実施していただきたいと強く要望したいと考えますが、市長の御所見をお伺いします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

美歎川周辺の水質環境につきましては、これまで河川管理者であります鳥取県と情報共有や情報交換を行ってきておりますが、原因究明や具体的対策を見据えた学術的調査につきましては、今後県と協議をいたしまして判断をしてまいりたいと、このように考えております。

○浅野博文議員 今、市長の所見を伺い、今後の対応を期待したいと思います。

河川と湖沼では環境改善や水質浄化への取組は異なると考えますが、例えば湖山池の水質浄化の対策に当たっては、現在、県と市の行政サイドで湖山池会議を設置して、定期的に協議が続けられていると認識しております。

そこで、国指定重要文化財旧美歎水源地水道施設の管理主体である鳥取県と鳥取市が、仮称ですが美歎水源地会議なるものを設置して、保存活用計画が策定された平成26年当初にはなかった課題を協議する場を設けてはどうかと考えます。このことを提案してこの質問は終わります。

重ねて、デジタル化による市民サービスの向上についてお聞きします。

先ほどの答弁のとおり、地区公民館は会議室等でのオンライン会議の開催が可能になりましたが、導入当初には無線アクセスポイントの接続ができる職員が今いないので、接続できないと言われた地区公民館があると聞いていました。そこで、現在では全ての職員が無線アクセスポイントの設置ができるようになったのかお伺いします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

アクセスポイント機器、いわゆるスマートフォンなどをインターネットに接続するための機器であります。利用する際にはこれを設置していただく必要がありまして、その設置方法につきましては手順書

を作成いたしましたして、職員誰でも対応できるようにしているところがありますが、改めて周知徹底をいたしますとともに、利用される方も手順書を見て設置をしていただけるようにしてまいりたいと考えております。

○浅野博文議員 御答弁いただきましたが、これ以外にも今後も地区公民館職員のデジタルのスキルアップを進めることにより、利用者のデジタルの利活用に対する利便性の向上や、地域にもさらなる貢献ができるものと考えますが、いかがでしょうか。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

公民館職員のデジタルスキルの向上は、利用者のデジタル機器の利活用の際の利便性の向上や、会議をオンラインで開催をすることができるなど、地域のデジタル化に貢献できるものと考えております。今後も地区公民館職員のデジタルスキルの向上のために、機会を捉えて研修を行ってまいりたいと考えております。

○浅野博文議員 令和6年度に地区公民館のデジタル化に向けた取組をされると聞いておりますけども、どのように取り組んでいくのかお伺いします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

令和6年度の地区公民館のデジタル化に向けた取組といたしましては、現在スポーツ施設などで活用されておりますとっとり施設予約サービス、これを導入することとしております。

まずは利用者の皆様がインターネット上で空き状況を確認していただけるなど、利用者の利便性の向上や、施設の利用に関する事務等を自動的に処理することで、公民館職員の事務の効率化を図ることを目的としているところであります。

○浅野博文議員 今の御答弁にあったとおり、地区公民館の会場予約にとっとり施設予約サービスを活用されるとのことで、しっかりと整備をしていただくよう期待いたしますが、私は先日、市民の方から、高齢者福祉センターの会場利用申込みをしようとした際、とっとり施設予約サービスで空き状況は確認できたが、利用申込みができなかったことや、ホームページが分かりにくかったとの声をお聞きしまし

た。本市の公共施設におけるとっとり施設予約サービスの活用状況がどうなっているのかお伺いいたします。

○塩谷範夫企画推進部長 お答えいたします。

本市では、主要な市有公共施設の利用の際、インターネットを活用し、24時間365日、空き状況の確認や施設によっては利用予約申込みまで行えるとっとり施設予約サービスを導入しております。

現在活用している市有公共施設につきましては、体育館、球場、テニスコートなどの体育施設が33施設、市民会館、人権センター、コミュニティセンターなどの文化施設が12施設の合計45施設が当システムにて公開しており、そのうち予約まで可能な施設は体育施設の13施設と文化施設の1施設となっております。

○浅野博文議員 今御答弁ありましたけども、本市の公共施設においてとっとり施設予約サービスで空き状況が確認できる施設と、利用申込みまでできる施設があるとの御答弁でした。

施設によってとっとり施設予約サービスの提供機能に差があるのはどういう理由があるのかお伺いします。

○塩谷範夫企画推進部長 お答えいたします。

公共施設の利用予約においては、利用する部屋や場所の予約に加えて、照明、その他の備品利用を押さえる必要がございます。文化施設については、利用者の目的によって利用する備品の種類や数がまちまちであり、実際の利用時にトラブルが生じる懸念があることから、現在は空き状況を公開するのみで、実際の予約についてはメールや電話等により予約内容の詳細を確認しながら、各施設側で予約登録を行っているのが現状でございます。

○浅野博文議員 今御答弁いただきましたけども、このことは市民の方にはなかなか理解できないと同時に、本市のデジタル化に逆行するものと考えます。今後の本市が進めるデジタル化社会の推進に向け、公共施設利用におけるホームページを分かりやすくするなど、市民の利便性の向上への取組について、市長のお考えをお伺いします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

とっとり施設予約サービスなどのデジタル技術を活用した施設管理

につきましては、利用者の利便性の向上や利用の拡大が期待できますとともに、施設の使用に関する事務等の自動化など、事務効率の改善にも寄与するものと考えております。

御指摘をいただきました分かりやすいホームページ作成に向けた研修や、文化施設でシステムを活用した利用申込みを可能とするなどの改善、さらにはとっとり施設予約サービスの活用施設の拡大や施設利用料のキャッシュレス対応など、市民サービスのさらなる向上に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。

○浅野博文議員 今、市長から前向きな答弁いただきました。よろしく願いいたします。

次に、超高速情報通信網の整備についてお聞きします。

情報化社会におけるICT利活用のための超高速通信網が必要となっておりますが、整備の遅れている地域があるため、超高速情報通信基盤整備事業によって格差是正に向けた整備が進められています。この整備の内容と現状についてお伺いします。

○塩谷範夫企画推進部長 お答えいたします。

超高速情報通信基盤整備事業は、全市域への光ファイバーによる高速インターネット接続環境の提供並びに対災害性の強化、設備の老朽化対策を目的に、本市が所有する有線テレビジョン放送施設の通信用ケーブルを従来の同軸ケーブルから光ファイバーへ更新することで、超高速な情報通信環境を整備する事業となります。

具体的な工事としましては、中継局からの幹線となる光ケーブルの敷設と、各お宅への光ケーブルの引込みの2種類となります。現状としましては、令和5年度末に新市域における幹線の光化が完了するとともに、各ケーブルテレビ契約家庭への引込線の取替え工事については、現契約者の約60%が切替え完了となる見込みであり、目標である完全切替えに向け、次年度以降も順次進めているところでございます。

○浅野博文議員 次に、この事業では現在既にケーブルテレビを利用の世帯を対象に、宅内への通信及び放送設備の切替えを進めていると認識しております。

しかしながら、委託を受けた工事事業者の職員が対象の世帯を訪問すると不審者だと勘違いされたり、高齢者世帯では先が短いので必要

がないと断られるなど、様々な理由でこの工事を拒否されている世帯があると聞いております。このことを含めて、この事業の課題についてお聞きします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

本事業の実施に当たりましては、工事目的や内容についての資料の全戸配布や自治会長さんへの説明、そして希望集落への住民説明会の実施など、事前周知を行ってきたところであります。また、各御家庭への工事の際には、工事内容を記載した書類を郵送した後、工事日時の調整を行い施工してきたところでありまして、おおむね順調に進んでいるものと判断をしております。

しかしながら、中には様々な理由によりまして連絡を取ることが難しい御家庭や、電話連絡の際に詐欺と間違われる場合、また作業員が宅内に入ることを嫌がられる場合などがあり、工事の日程調整や実際の工事の際に住民の方から御理解をいただくことが難しい事例もありまして、施工に当たり工夫や期間を要する場合も若干生じているような状況にあります。

○浅野博文議員 今御答弁いただきましたけども、この課題も踏まえて超高速情報通信網の整備を推進するため、今後どのように取り組んでいくのかお伺いします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

この事業では、工事対象地域にお住まいの現在ケーブルテレビに加入をされておられます全ての御家庭が光ファイバー線に切り替えていただくことが必要となりますので、市民の皆様に御理解いただけるよう丁寧な対応が必要であると考えております。

連絡を取ることが難しい御家庭につきましては、市、工事業者、ケーブルテレビ事業者、この3者が親族の方や近隣住民の方から情報をいただくことにより対応し、工事内容の説明につきましても御本人以外に御家族の方などにも説明をするなど、状況に合わせた工夫をしながら進めておるところであります。今後も計画的に工事を進めるため、引き続き3者でしっかりと連携をとりながら進めてまいりたいと考えております。

○浅野博文議員 最後の質問になりますけども、デジタル化による市民サービスの向上のために、今後ICT利活用の推進にどう取り組んでいくのか、本市のお考えをお伺いします。

○深澤義彦市長 お答えをいたします。

超高速情報通信網の整備により、鳥取市デジタルトランスフォーメーション推進方針の柱に掲げておりますデジタル社会の基盤づくりの1つが大きく進むことになり、全市域において高度に進展するICT技術が円滑に活用できる環境、いわゆる地域社会のDXの推進の足がかりができたものと考えております。

今後はこれらの活用も念頭に、子育てアプリやオンライン学習といった子育て・教育の分野、オンライン相談、保健指導などの福祉分野、また観光、農林水産など本市の各分野における事業の課題についてICT技術を活用するとともに、民間事業者による様々なサービスの創造につなげ、それらと連携するなど、市民生活、市民サービスの向上に取り組んでまいりたいと考えております。

○浅野博文議員 今、市長から御答弁いただきました。しっかりと進めていただきたいと要望して、私の質問を終わります。